

兵庫県下の経済動向

平成24年11月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、なお足踏み状態にあるが、一部に弱めの動きがみられている。海外経済の減速等を背景に、輸出や生産は弱めとなっている。個人消費は横ばい圏内で推移している。一方、住宅投資や設備投資は持ち直している。公共投資は増加している。この間、雇用・所得環境はこのところ改善の動きに一服感がみられる。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が3か月連続で前年を上回った。乗用車販売は、軽自動車が増加したものの、普通乗用車、小型乗用車が減少し、全体では2か月連続で前年を下回った。家電販売は、スマートフォン等が引き続き好調であるものの、薄型テレビが大幅な減少を続けていることから、全体としても低調に推移している。

設備投資は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業は増加計画となっている。

住宅投資は、分譲が減少したものの、持家、貸家が増加し、全体では2か月ぶりに前年を上回った。

公共工事は、国、独立行政法人等が減少したものの、兵庫県、神戸市、神戸市を除く市町、その他の団体が増加したことから、3か月ぶりに前年を上回った。

貿易は、輸出が米国向けが増加したものの、EUおよび中国を含むアジア向けが減少し、10か月連続で前年を下回った。また、輸入については4か月連続で前年を下回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、一般機械工業、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業などの上昇により2か月ぶりに上昇した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を下回り、新規求人数は前年を上回った。

また、所定外労働時間、常用労働者数、一人当たり名目賃金は、いずれも前年を上回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年並みの水準で推移している。

企業倒産は、件数は前月を上回ったものの前年を下回り、金額は前月および前年を下回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

8月の兵庫DIは、先行14.3%、一致指数16.7%、遅行指数37.5%となった。

8月の兵庫CIは、先行指数87.6、一致指数89.4、遅行指数100.2となった。

兵庫DIは、先行指数および一致指数が2か月ぶりに好不況の判断の分かれ目となる50%を下回り、遅行指数が6か月連続で50%を下回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が3か月連続で前月差減となり、一致指数および遅行指数が2か月ぶりに前月差減となった。

県統計課は基調判断を「景気の局面変化に入った」として下方修正した。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

9月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は93.1、前月比1.6%上昇。出荷指数は91.2、同1.4%上昇。在庫指数は133.0、同0.2%上昇。在庫率は158.0、同9.3%上昇。生産指数および出荷指数は2か月ぶりに上昇、在庫指数は5か月ぶりに上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が6.4%減で7か月連続、出荷は10.4%減で8か月連続で低下した。また在庫は9.2%増で27か月連続で上昇した。

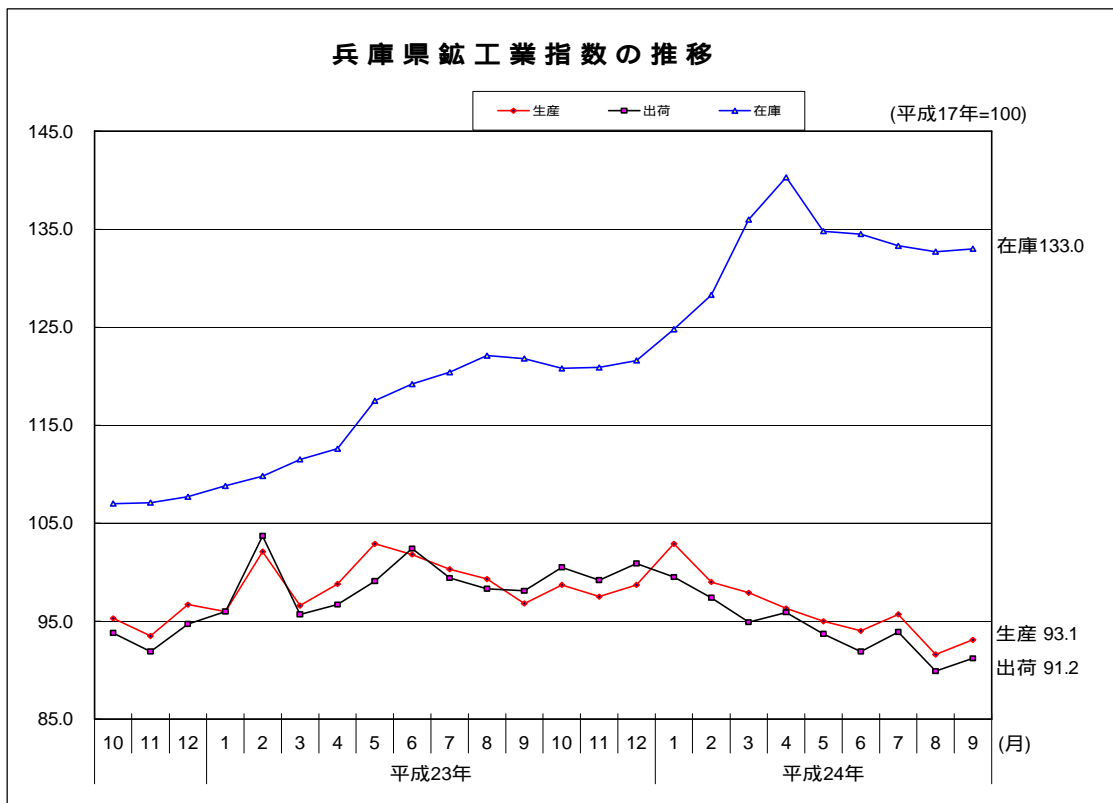
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、一般用蒸気タービン等の「一般機械」が17.4%、電界効果型トランジスタ等の「電子部品・デバイス」が14.9%、船用ディーゼル機関等の「輸送機械」が4.6%、各々上昇し、うす板ばね等の「金属製品」が横ばい、携帯電話等の「情報通信機械」が17.3%、医薬品等の「化学」が9.8%、一般用タービン発電機等の「電気機械」が6.8%、特殊鋼熱間圧延鋼材等の「鉄鋼」が2.8%、即席めん等の「食料品」が1.1%、各々低下した。

県統計課は、基調判断を「一部にやや弱い動き」としている。

9月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整済指数	対前月比増減(%)	原 指 数	
			原指数	対前年同月比増減(%)
生 産	93.1	1.6	95.1	6.4
出 荷	91.2	1.4	94.5	10.4
在 庫	133.0	0.2	130.9	9.2
在 庫 率	158.0	9.3	143.3	17.7

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



9月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	86.9	2.8	上昇	普通鋼鋼管、銑鉄、鍛鋼品、普通鋼冷延電気鋼帯
			低下	特殊鋼熱間圧延鋼材、普通鋼鋼帯、特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)、普通鋼冷延広幅帯鋼
金属製品	79.0	0.0	上昇	うす板ばね、ガス風呂がま、鋼管製管継手、橋りょう
			低下	石油温水給湯暖房機、ガス温風暖房機、ガス湯沸器、PC鋼より線
一般機械	104.8	17.4	上昇	一般用蒸気タービン、プレイバックロボット、蒸気タービン部品、トンネル掘削機
			低下	油圧ポンプ、ショベル系掘削機械、はん用内燃機関、反応用機器
電気機械	119.9	6.8	上昇	非標準油入り変圧器(10000kVA以上) 電力変換装置、リチウムイオン蓄電池、太陽電池モジュール
			低下	一般用タービン発電機、開閉制御装置、一般用エンジン発電機、クッキングヒーター
情報通信機械	126.3	17.3	上昇	パーソナルコンピュータ、レーダ装置、固定通信装置、無線位置測定装置
			低下	携帯電話、カーナビゲーション、陸上移動通信装置(携帯電話以外)、テレメータ・テレコントロール、
電子部品デバイス	88.1	14.9	上昇	電界効果型トランジスタ、IGBT、線形半導体集積回路、アクティブ型液晶素子(7.7インチ未満)
			低下	アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、混成集積回路、トランス(コイルを含む)、モス型半導体集積回路(ロジック)
輸送機械	79.8	4.6	上昇	船用ディーゼル機関、二輪自動車(125ml超) 鋼船、二輪自動車部品
			低下	機関部品、旅客車、懸架制動装置装置部品、ショベルトラック
化 学	76.8	9.8	上昇	化粧品、自動車排気ガス浄化用触媒、酸化亜鉛、陰イオン界面活性剤
			低下	医薬品、アクリル酸エステル、石油化学品製造用触媒、塩化ビニル樹脂
食 料 品	93.8	1.1	上昇	清酒、配合飼料、冷凍調理食品、パン類
			低下	即席めん、塩、めん類、砂糖

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた10月の県内百貨店売上高は、前年同月比0.2%増の168億63百万円で、3か月連続で前年を上回った。気温が下がらず秋冬向け衣料が低調傾向だったものの、県内最大の売上高の大丸神戸店が高級ブランドと改装した食品フロアが好調で全体の水準を押し上げた。

神戸地区は0.8%増。しかし、衣料品が振るわず前年割れする店舗が目立った。

姫路・加古川地区は2.8%減。神戸地区と同様に衣料品が低調だった。11月に入って気温が下がり始め、各店とも「高単価なコートなどの売れ行きが良くなっている」としている。

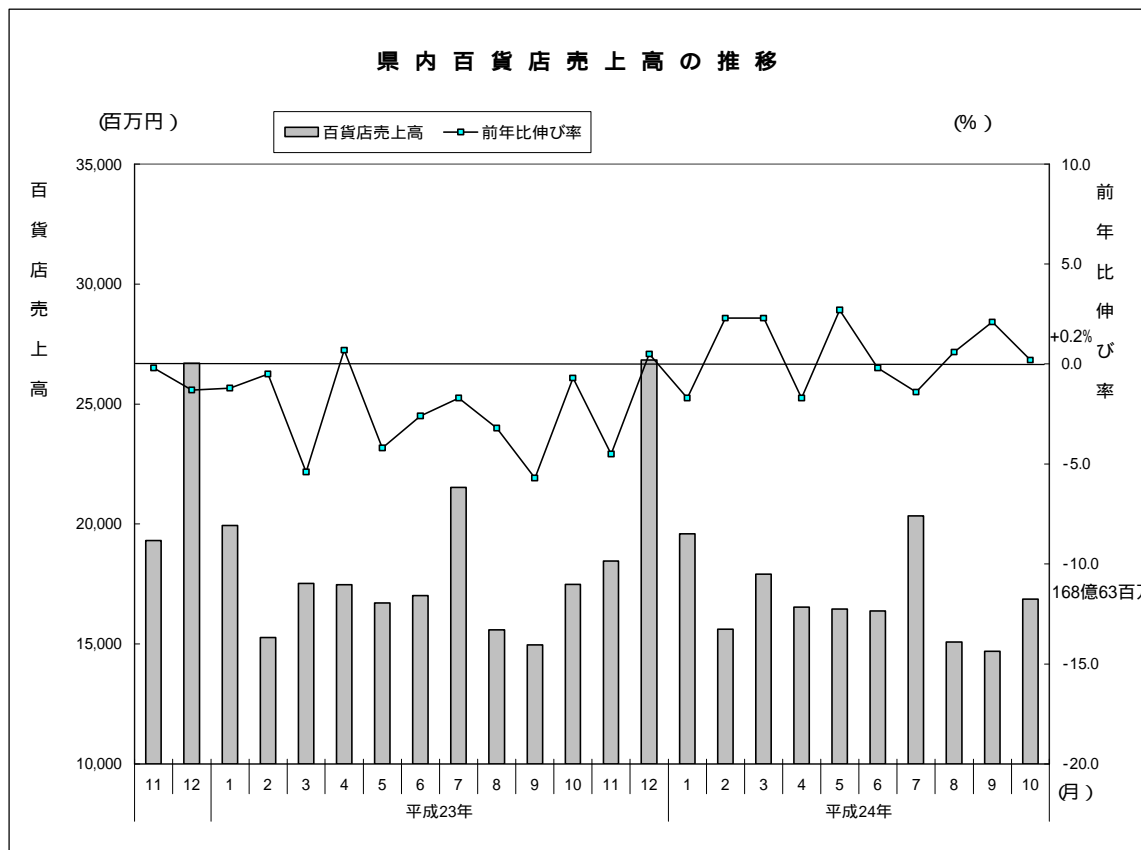
10月の県内百貨店売上高

品目	地区		
	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	827(7.0)	190(9.0)	1,018(7.4)
婦人服・洋品	4,538(2.3)	717(4.8)	5,255(1.2)
子供服・洋品	353(0.6)	103(2.1)	457(0.0)
身の回り品	1,511(6.0)	263(3.4)	1,774(4.5)
家庭用品	530(11.3)	171(3.0)	701(8.2)
食料品	3,721(2.6)	791(1.0)	4,512(1.9)
雑貨	1,739(3.2)	387(7.9)	2,127(4.1)
その他	711(2.7)	304(6.3)	1,016(3.7)
計	13,934(0.8)	2,928(2.8)	16,863(0.2)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内 10 月の乗用車新車登録台数は 13,491 台、前年同月比 4.7%減と 2 か月連続で前年同月の実績を下回った。

10 月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は 3,780 台(前年同月比 17.8%減)、小型乗用車は 4,005 台(同 3.8%減)、軽乗用車は 3,656 台(同 6.1%増)、乗用車合計で 11,441 台(同 6.3%減)となった。

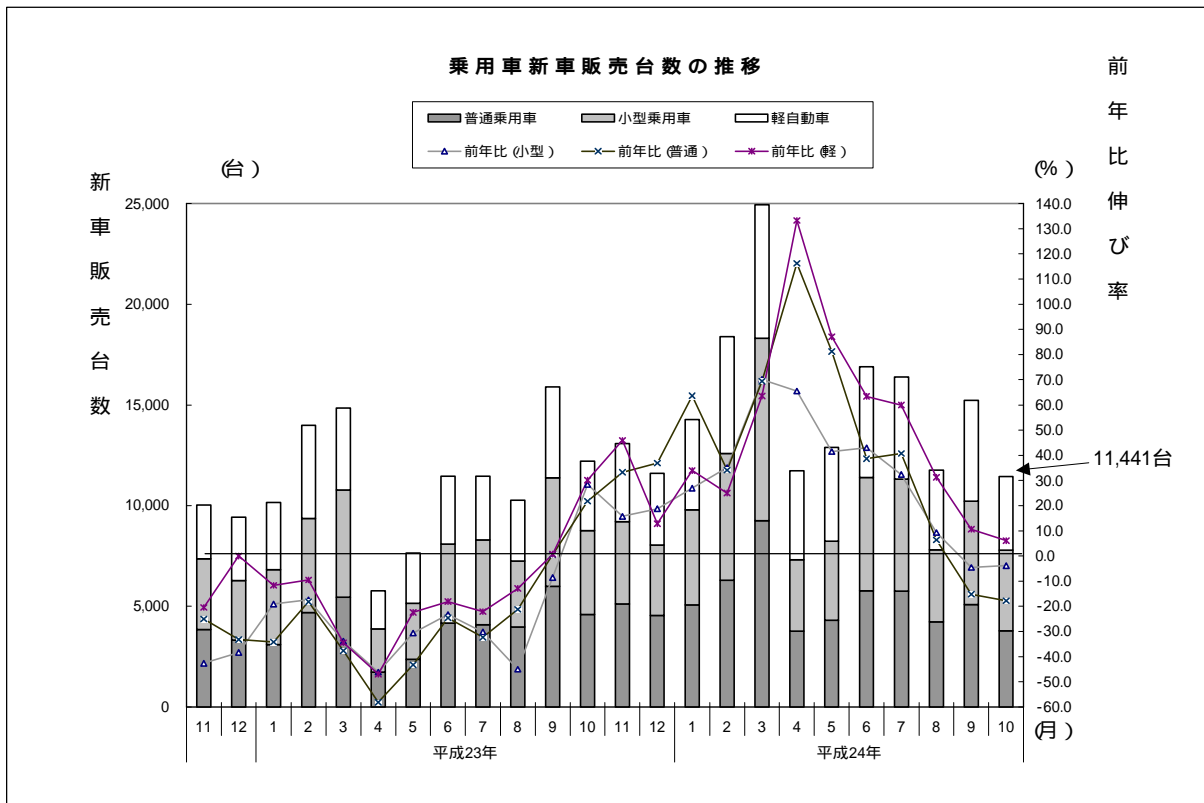
また貨物車等では、普通貨物車は 201 台(同 13.4%減)、小型貨物車は 606 台(同 14.1%増)、軽貨物車は 1,218 台(同 5.5%増)、バスは 25 台(同 13.8%減)となった。

10 月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	3,780	17.8	85,657	19.9
小型乗用車	4,005	3.8	110,809	2.2
軽乗用車	3,656	6.1	102,867	2.4
乗用車合計	11,441	6.3	299,333	6.7
普通貨物車	201	13.4	9,525	4.8
小型貨物車	606	14.1	18,824	5.6
軽貨物車	1,218	5.5	30,919	5.4
貨物車合計	2,025	5.6	59,268	0.6
バス	25	13.8	728	0.8
登録車総計	13,491	4.7	359,329	5.7

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が11月8日に発表した機械受注統計によると、平成24年9月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、24年8月前月比12.6%減の後、9月は同9.6%増の1兆8,160億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、8月前月比3.3%減の後、9月は同4.3%減の6,862億円となった。

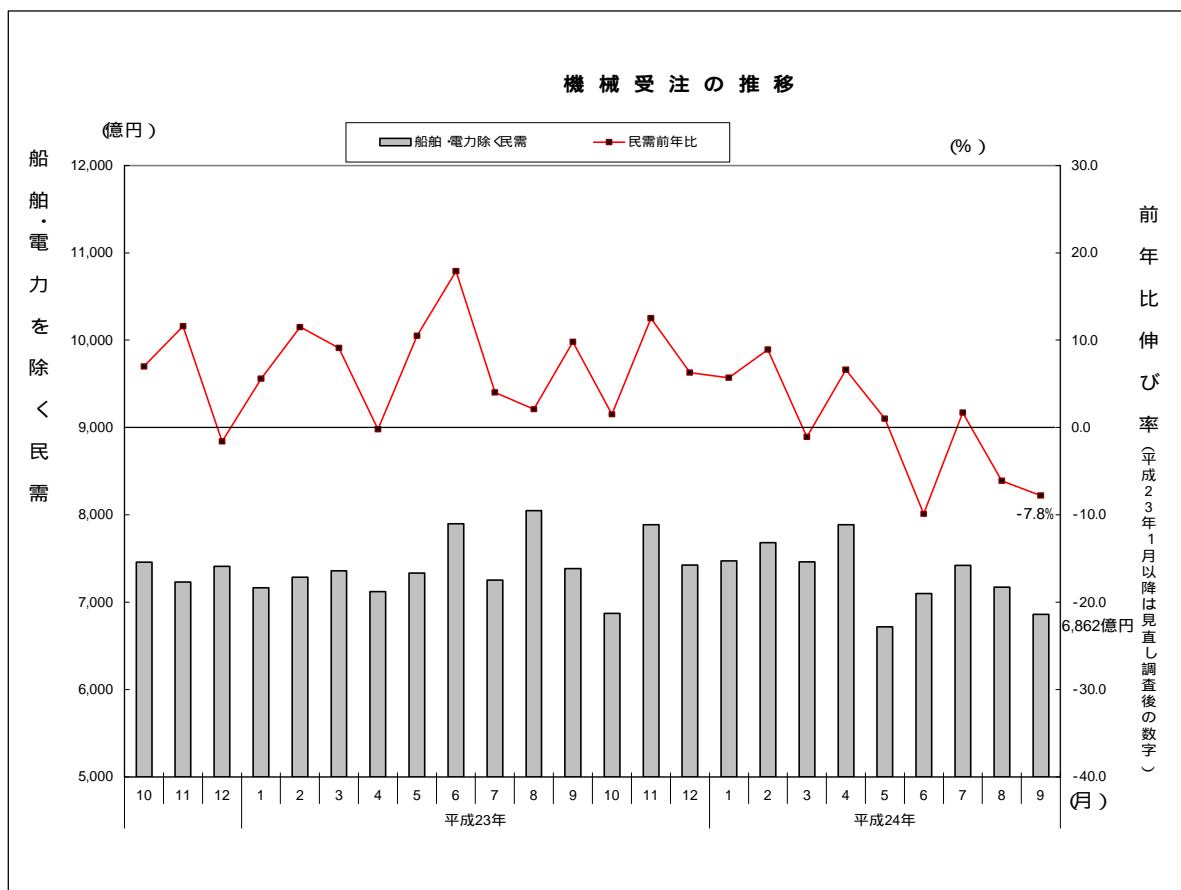
内訳をみると、製造業が同2.8%増の2,868億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同1.3%増の4,357億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、石油製品・石炭製品(80.8%増) その他輸送用機械(70.3%増) 鉄鋼業(48.5%増)等の5業種で、パルプ・紙・紙加工品(22.7%減) 一般機械(18.7%減) 食品製造業(15.0%減) 自動車・同付属品(14.6%減) 一般機械(8.8%減) 精密機械(7.9%減)等の10業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、運輸業・郵便業(33.5%増)等の2業種で、不動産業(30.3%減) 鉱業・採石業・砂利採取業(23.6%減) 電力業(21.9%減) 卸売業・小売業(19.0%減) 農林漁業(13.5%減) 情報サービス業(11.4%減)等の10業種は減少となった。

兵庫県下においては、2012年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

* 全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2012年9月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+23.4%(製造業+35.4%、非製造業 11.8%)



機械受注統計（平成24年9月分）

	23年 10～12月 実績	24年 1～3月 実績	4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 見通し	24年 6月 実績	7月 実績	8月 実績	9月 実績
受注総額	62,834 (6.4) [1.4]	67,292 (7.1) [3.2]	58,815 (-12.6) [-4.0]	53,704 (-8.7) [-8.3]	56,248 (4.7) [-7.7]	19,477 (7.4) [-10.9]	18,972 (-2.6) [2.6]	16,573 (-12.6) [-18.6]	18,160 (9.6) [-7.8]
民需	27,404 (-0.1) [-0.3]	26,253 (-4.2) [-1.8]	26,542 (1.1) [-5.8]	25,763 (-2.9) [-7.1]	26,720 (3.7) [4.6]	8,637 (9.3) [-18.1]	9,009 (4.3) [1.9]	7,779 (-13.7) [-13.7]	8,975 (15.4) [-8.2]
” (Ex 船・電)	22,425 (-0.7) [6.7]	22,620 (0.9) [3.3]	21,702 (-4.1) [-1.7]	21,456 (-1.1) [-4.6]	22,525 (5.0) [7.6]	7,097 (5.6) [-9.9]	7,421 (4.6) [1.7]	7,123 (-3.3) [-6.1]	6,862 (-4.3) [-7.8]
製造業	9,792 (-0.7) [4.1]	9,804 (0.1) [-0.5]	9,234 (-5.8) [-7.6]	8,942 (-3.2) [-9.5]	8,327 (-6.9) [-9.2]	2,933 (-2.9) [-16.2]	3,284 (12.0) [4.0]	2,790 (-15.1) [-18.4]	2,868 (2.8) [-12.7]
非製造業 (Ex 船・電)	12,728 (-0.5) [8.6]	12,791 (0.5) [6.4]	12,794 (0.0) [3.1]	12,808 (0.1) [-1.3]	14,639 (14.3) [23.0]	4,242 (2.6) [-4.6]	4,152 (-2.1) [-1.0]	4,300 (3.6) [3.9]	4,357 (1.3) [-4.7]
官公需	6,756 (9.6) [1.0]	7,496 (10.9) [30.6]	7,811 (4.2) [26.7]	7,115 (-8.9) [18.1]	6,818 (-4.2) [12.1]	2,683 (19.2) [26.0]	2,321 (-13.5) [10.4]	2,156 (-7.1) [7.3]	2,638 (22.4) [29.3]
外需	25,912 (6.7) [1.9]	27,613 (6.6) [-1.3]	22,904 (-17.1) [-9.4]	19,867 (-13.3) [-18.0]	20,221 (1.8) [-24.0]	7,126 (-9.8) [-11.3]	7,340 (3.0) [-1.9]	6,263 (-14.7) [-31.1]	6,264 (0.0) [-18.4]
代理店	2,673 (11.6) [15.7]	2,946 (10.2) [20.4]	2,768 (-6.1) [7.8]	2,705 (-2.3) [11.7]	2,776 (2.6) [3.7]	914 (-5.3) [16.5]	1,043 (14.1) [35.7]	814 (-22.0) [6.5]	847 (4.0) [-3.6]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内9月の新設住宅着工戸数は、総数で2,534戸(前年同月比2.4%増)となり、分譲住宅が減少したものの、持家、貸家が増加し、全体では2か月ぶりに前年を上回った。また、前月比では165戸の減少となった。

9月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	954	16.6	28,125	12.6
・分譲住宅	871	18.6	19,410	4.8
貸家系・貸家	686	18.1	26,253	35.4
・給与住宅	23	283.3	388	70.4
総数	2,534	2.4	74,176	15.5

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

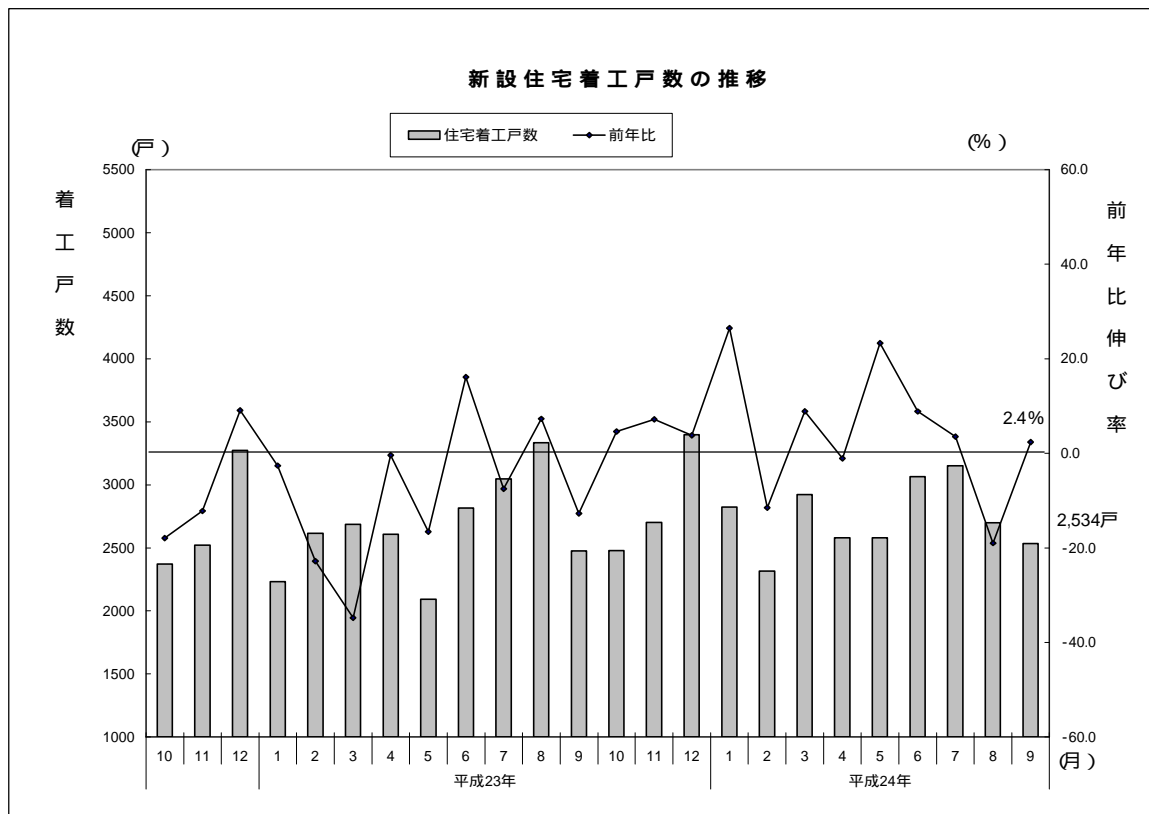
9月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	620	570	369	377	68	314	101	44	35	36	2,534
前月比	-288	-31	140	35	-24	-27	38	-26	11	7	-165

資料：兵庫県住宅計画課

平成24年9月の新設住宅着工累計は、総数で16,611戸、前年同期比239戸の増加となった。利用関係別では「持家」が5,500戸(前年同期比3.2%減)、「分譲住宅」が5,905戸(同0.4%増)、「貸家」が4,867戸(同2.5%増)、「給与住宅」が339戸(同465.0%増)となった。



【公共工事】

10月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は589件で前年同月比9.1%の増加、請負金額は269億6百万円で同17.4%の増加となり、金額ベースでは3か月ぶりに前年同月を上回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「国」が前年同月比38.4%、「独立行政法人等」同9.6%の減少となったものの、「その他の団体」同91.3%、「神戸市」同54.2%、「神戸市を除く市町」同19.2%、「兵庫県」同10.0%の増加となり、前年同月を上回った。

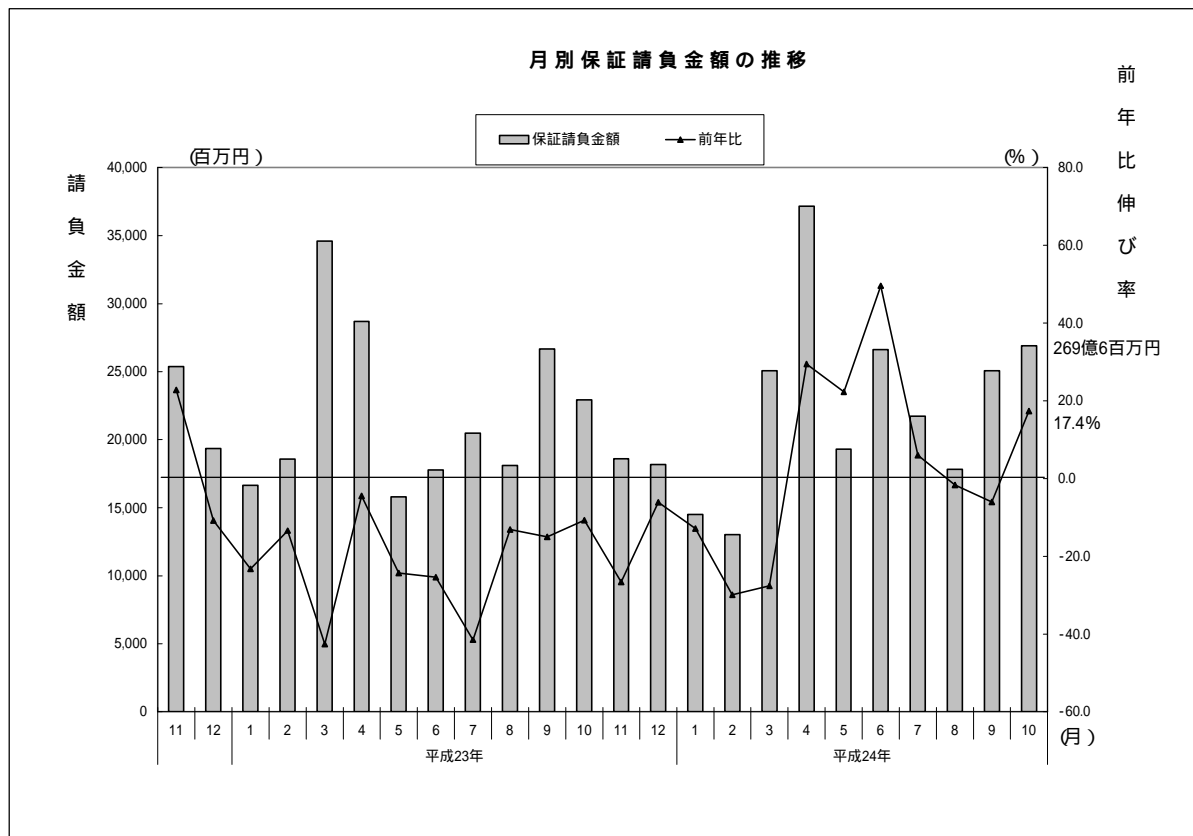
地域別(金額ベース)では、淡路(前年同月比198.3%増)神戸市(同49.1%増)西播磨(同35.0%増)阪神南(同11.7%増)北播磨(同6.2%増)丹波(同0.5%増)で増加、東播磨(同29.6%減)但馬(同16.4%減)中播磨(同10.5%減)阪神北(同1.8%減)で減少となった。

10月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	32(3.0)	1,781(38.4)	
独立行政法人等	16(5.9)	1,119(9.6)	平成24年度鳴門管内橋面防水他工事
兵庫県	229(15.1)	9,037(10.0)	
神戸市	49(9.3)	3,616(54.2)	友生支援学校新築工事、大容量送水管(奥平野工区)整備工事
神戸市を除く市町	235(13.5)	7,237(19.2)	尼崎市金楽寺小学校南棟等改築工事、同水堂小学校南棟改築等工事、同塚口小学校西南棟改築等工事
その他の団体	28(6.7)	4,113(91.3)	神戸港埠頭 PC16、17 パースコンテナクレーン製作据付工事
合計	589(9.1)	26,906(17.4)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成24年9月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,310億円、前年同月比6.6%の減少で、総額ベースで10か月連続の減少となった。輸出は、通信機などが増加したものの、音響・映像機器の部分品、荷役機械などが減少した。一方、輸入は、たばこなどが増加したものの、衣類及び同付属品、肉類及び同調製品などが減少した。

輸出は4,271億円(前年同月比6.6%減)と10か月連続で前年を下回った。

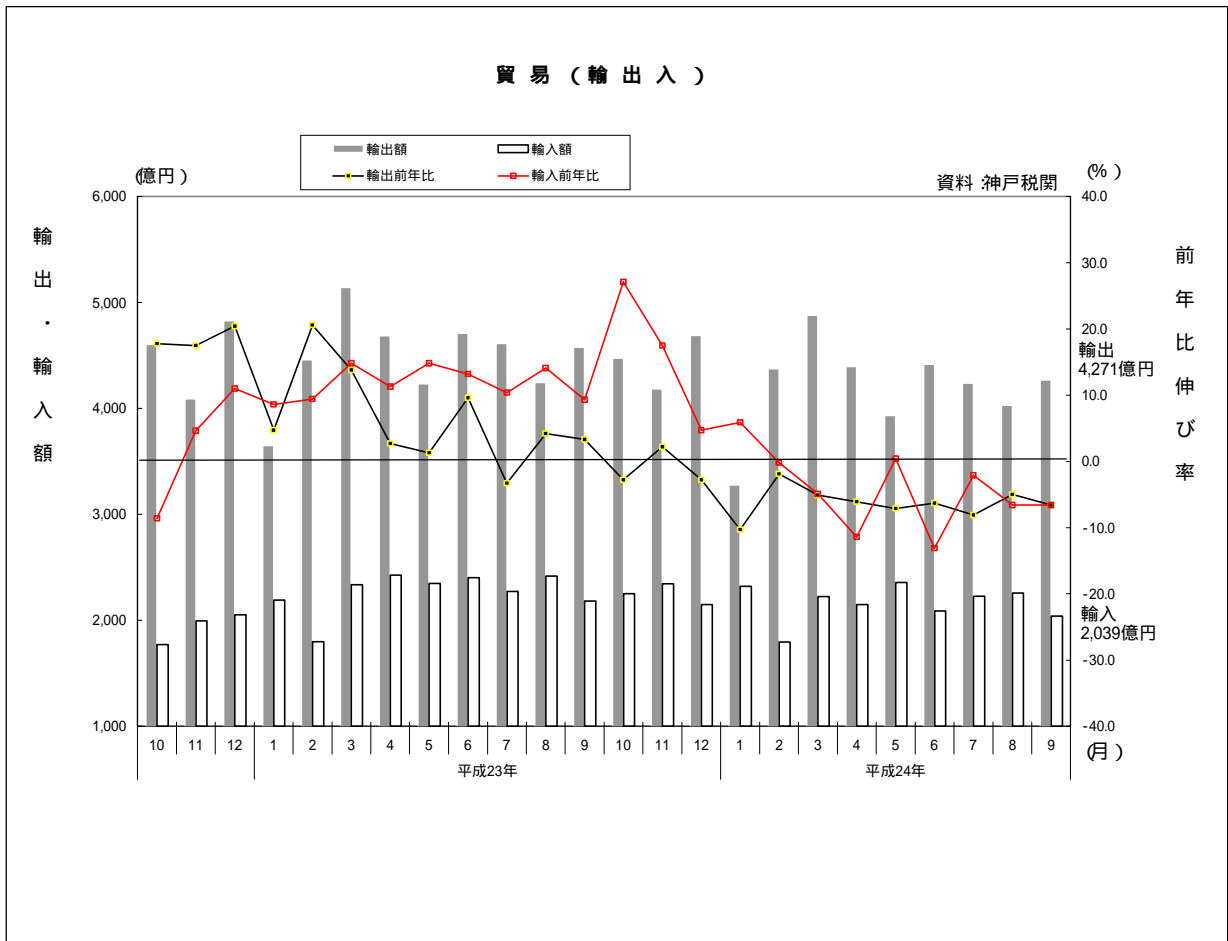
主要品目では、プラスチック(前年同月比0.0%増、2か月連続プラス)が増加し、織物用糸及び繊維製品(同5.1%減、4か月連続マイナス)、原動機(同7.1%減、4か月ぶりにマイナス)、建設用・鉱山用機械(同5.9%減、5か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比6.0%増、3か月連続プラス)が増加し、アジア(中国含む)(同8.1%減、12か月連続マイナス)、中国(同16.3%減、12か月連続マイナス)、EU(同9.9%減、5か月連続マイナス)がいずれも減少した。

輸入は2,039億円(前年同月比6.6%減)と4か月連続で前年を下回った。

主要品目では、たばこ(前年同月比12.5%増、2か月連続プラス)が増加し、衣類及び同付属品(同14.0%減、2か月連続マイナス)、非鉄金属(同20.4%減、2か月連続マイナス)、有機化合物(同15.3%減、6か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比7.4%減、2か月連続マイナス)、アジア(中国含む)(同5.8%減、4か月連続マイナス)、中国(同12.7%減、4か月連続マイナス)、EU(同1.1%減、3か月ぶりにマイナス)がいずれも減少した。



【物 価】『消費者物価』

10月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が99.5(平成22年=100)となり、前月比は0.2%下落、前年同月比は0.9%下落となった。生鮮食品を除く総合指数は99.9となり、前月比は0.1%下落、前年同月比は0.3%下落となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.5となり、前月比は変わらず、前年同月比は0.3%下落となった。

前月からの動きを見ると、衣料などの上昇により「被服及び履物」が1.0%、自動車等関係費などの上昇により「交通・通信」が0.2%、医薬品・健康保持用摂取品などの上昇により「保健医療」が0.2%、家事用消耗品などの上昇により「家具・家事用品」が0.3%、理美容用品の上昇により「諸雑費」が0.1%、それぞれ上昇した。しかしながら、調理食品などの下落により「食料」が1.1%、教養娯楽サービスなどの下落により「教養娯楽」が0.2%、家賃の下落により「住居」が0.1%、電気代の下落により「光熱・水道」が0.1%、それぞれ下落した結果、総合では0.2%の下落となった。

10月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	99.5	96.9	101.8	106.6	96.5	104.5	98.4	98.8	100.2	95.2	102.7	99.9	99.5
前月比	-0.2	-1.1	-0.1	-0.1	0.3	1.0	0.2	0.2	0.0	-0.2	0.1	-0.1	0.0
前年同月比	-0.9	-3.8	0.3	2.3	0.3	1.2	-0.4	0.4	0.1	-2.2	0.2	-0.3	-0.3

(注)平成22年=100

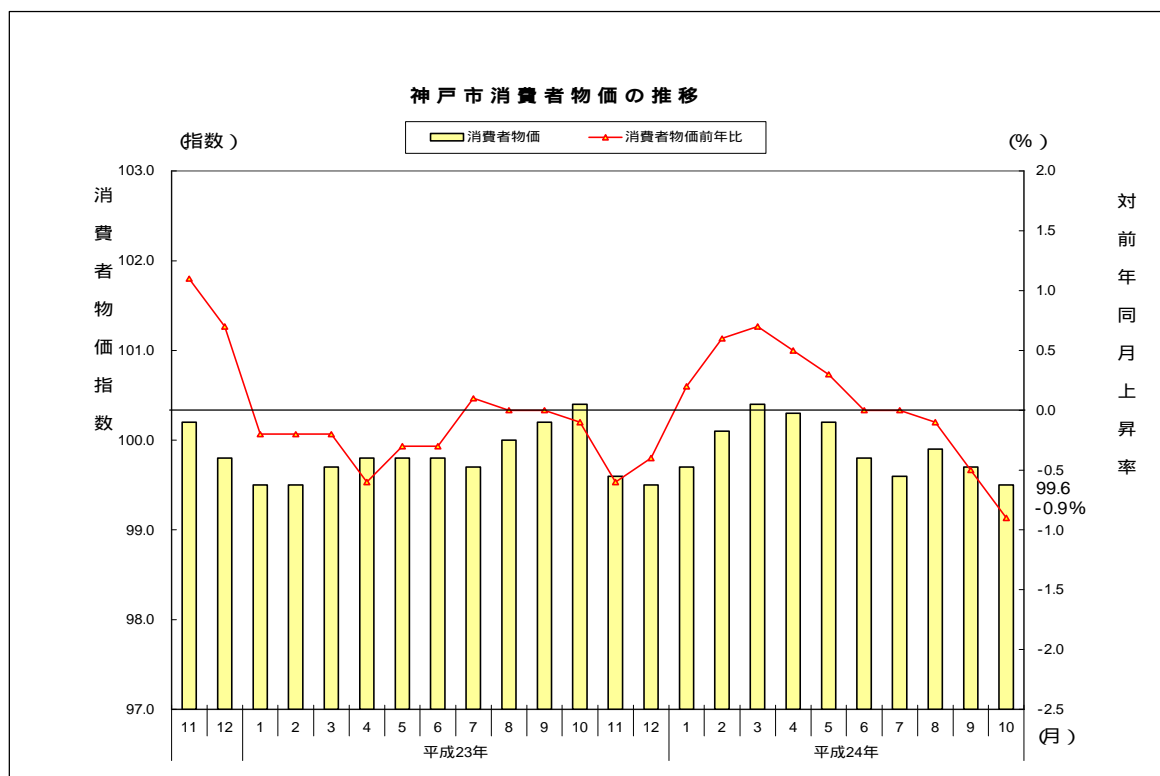
資料：兵庫県統計課

対前月比値上がりした主な品目

衣料 (+ 1.7%)・・・婦人スラックス(秋冬物)、ワンピース(同)
自動車等関係費 (+ 0.3%)・・・自動車保険料(任意)、自動車ガソリン

対前月比値下がりした主な品目

調理食品 (3.3%)・・・うなぎかば焼き、豚カツ、混ぜご飯のもと
教養娯楽サービス (0.6%)・・・外国パック旅行、放送受信料(NHK)



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が11月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2012年10月の企業物価指数は次のとおり。

10月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	100.1	0.3	1.0
輸 出 物 価	94.7	0.5	0.4
輸 入 物 価	105.7	0.1	0.1

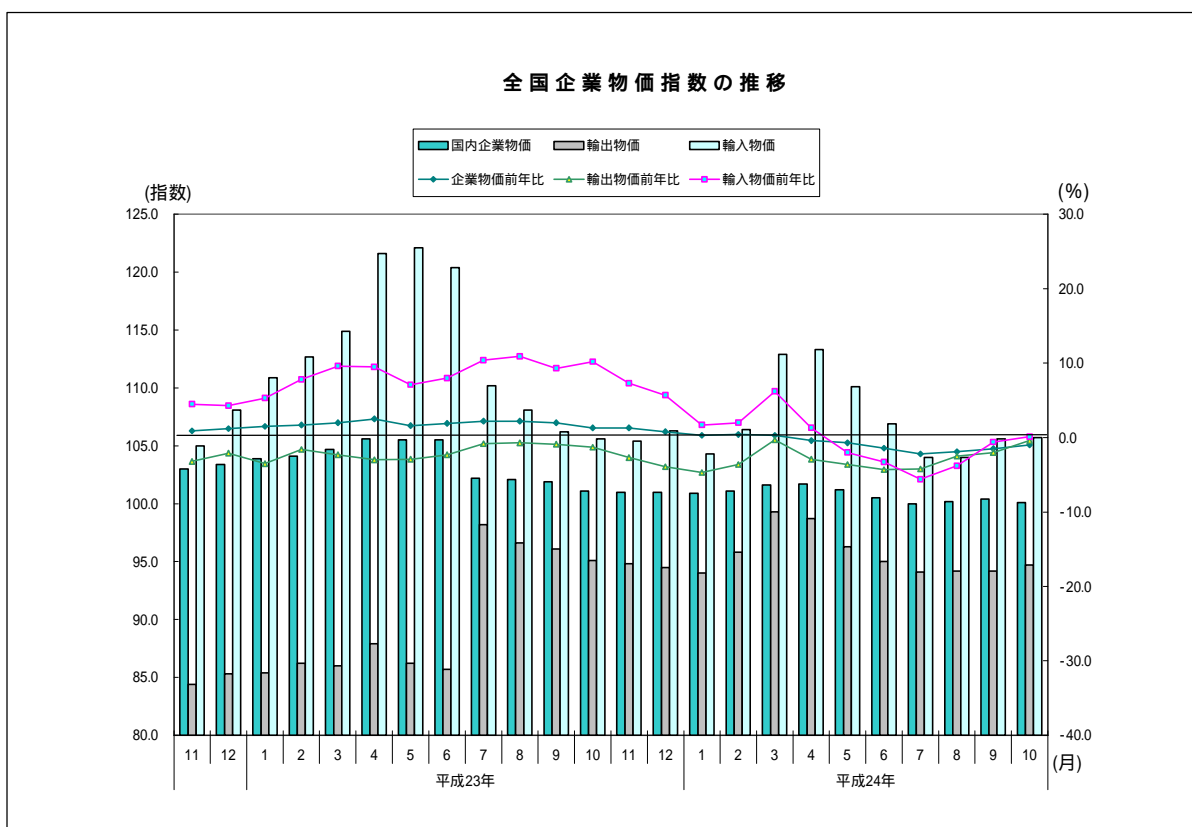
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、化学製品(前月比+0.7% <キシレンなど>)、食流品・飲料・たばこ・飼料(同+0.6% <配合飼料など>)等が上昇、スクラップ類(同-7.6% <鉄くずなど>)、電力・都市ガス・水道(同-5.0% <業務用高圧電力など>)、鉄鋼(同0.9% <鉄鋼切断品など>)等が下落し、全体では前月比0.3%の下落となった。

前年同月比では1.0%下落し、7か月連続でマイナスとなった。
世界的な景気減速で、鉄鋼など素材関連を中心に値下がりが続いた。

輸出物価は、化学製品(前月比+1.9% <スチレンモノマーなど>)等が上昇、電気・電子機器(同-0.6% <太陽電池など>)、はん用・生産用・業務用機器(同-0.2% <半導体製造装置など>)等が下落し、円ベースでは前月比0.5%の上昇(前年同月比-0.4%)となった。

輸入物価は、食料品・飼料(前月比+0.1% <とうもろこしなど>)等が上昇、石油・石炭・天然ガス(同-0.5% <液化天然ガスなど>)、金属・同製品(同-0.2% <鉄鉱石など>)等が下落し、円ベースでは前月比0.1%の上昇(前年同月比+0.1%)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内9月の新規求人数(全数)は、27,624人(前年同月比3.8%増、前月比9.1%増)で、14か月連続で前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は70,729人(前年同月比7.5%増、前月比5.0%増)で29か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比4.4%増で31か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同7.3%増で10か月連続で前年を上回った。また臨時・季節では同12.6%減で2か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比13.8%増)、情報通信業(同7.0%増)、卸売業、小売業(同8.5%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同10.6%増)、宿泊業、飲食サービス業(同6.5%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同2.0%増)、医療、福祉(同17.9%増)、サービス業(同8.5%増)は前年を上回ったが、製造業(同15.7%減)、運輸業、郵便業(同10.1%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

9月の新規求職申込件数(全数)は、22,567件(前年同月比6.8%減、前月比6.4%増)で、13か月連続で前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は99,911人(前年同月比4.1%減、前月比0.7%減)で28か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比6.0%減で13か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同1.4%減で4か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比36.0%減で3か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比3.8%増で2か月ぶりに前年を上回ったが、事業主都合離職者は同2.7%減で2か月連続、自己都合離職者は同3.8%減で2か月連続、自営・他は同11.8%減で16か月連続、無業者は同30.2%減で9か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、27,616人(前年同月比1.8%減)で、3か月ぶりに前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

9月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.10倍で前月を下回り、有効求人倍率については0.68倍で前月を下回った。

(4) 失業者の状況

9月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.2%、完全失業者数(原数値)は275万人(前年同月比2万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.7%(前年同月比0.4ポイント増)で、完全失業者数(原数値)は48万人(前年同月比5万人増)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
24年9月	27,624	2,137	4,252	384	1,643	4,044	199	424	754	1,966	997	6,607	3,460
前年同月比	3.8	13.8	15.7	7.0	10.1	8.5	2.1	1.9	10.6	6.5	2.0	17.9	8.5

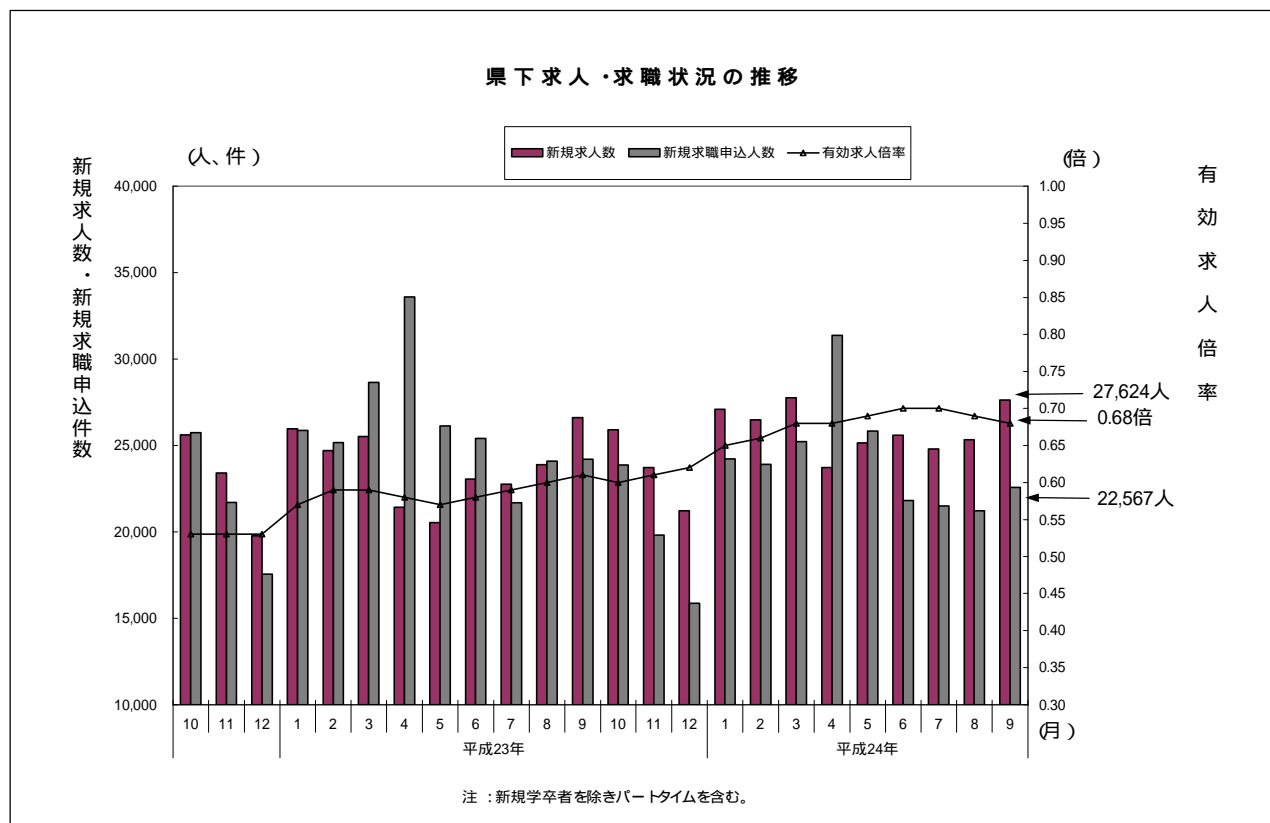
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇用・賃金の推移

項目・年月	11/10-12	12/1-3	12/4-6	12/7-9	12/7	12/8	12/9
有効求人倍率 (季調済、倍)	0.62	0.66	0.69	0.69	0.70	0.69	0.68
新規求人数 (原数値、前年比%)	3.0	6.8	14.5	6.1	9.0	6.0	3.8
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	2.3	2.2	5.0	n.a.	4.2	0.6	5.8
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	0.6	0.0	0.6	n.a.	0.8	0.5	0.3
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	0.3	1.3	2.9	n.a.	4.0	3.6	0.5

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



【信用保証】

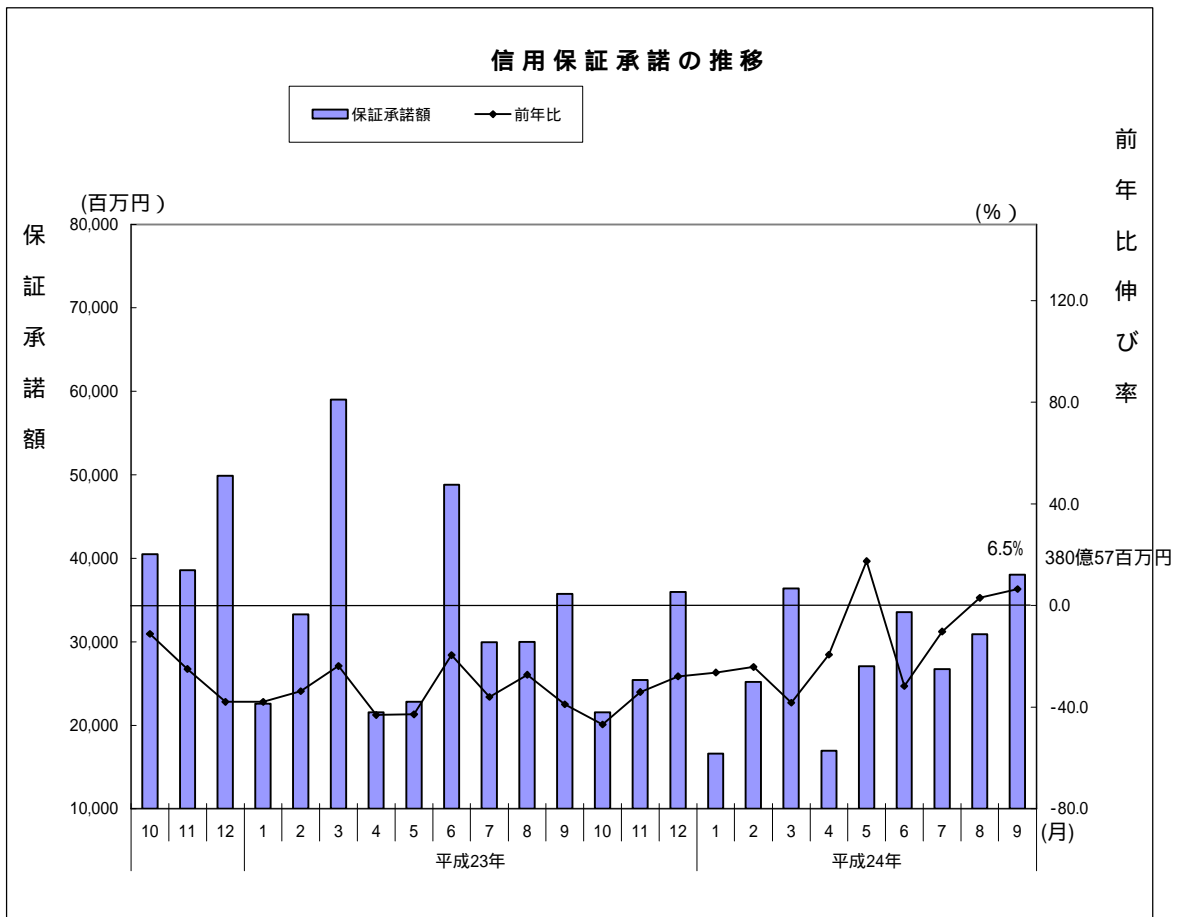
兵庫県信用保証協会による9月の保証承諾実績は、件数で2,186件（前年同月比3.9%減）、金額は380億57百万円（同6.5%増）となり、件数は4か月連続で前年を下回ったものの、金額は2か月連続で前年実績を上回った。

資金使途別では、運転資金35,565百万円（前年同月比8.6%増）、設備資金428百万円（同32.2%減）となり、運転資金は前年同月を上回り、設備資金は前年同月を下回った。

業種別（金額ベース）では、「運送・倉庫業」1,858百万円（前年同月比17.8%増）、「小売業」4,671百万円（同16.7%増）、「卸売業」8,132百万円（同13.7%増）、「サービス業」4,552百万円（同9.9%増）、「製造業」8,202百万円（同9.2%増）で前年同月を上回り、「建設業」8,395百万円（同5.6%減）、「不動産業」1,574百万円（同7.6%減）、「飲食店」587百万円（同12.1%減）で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、312件（前年同月比10.6%増）、35億17百万円（同12.0%減）となった。

9月末の保証債務残高は、110,803件（前年同月比4.6%減）、1兆2,923億円（同8.4%減）となった。



【金融】

9月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	142,104	2.5	55,954	0.0
地方銀行	24,362	3.2	20,571	5.4
第二地方銀行	31,558	3.2	19,887	0.9
信用金庫	79,756	1.7	38,100	0.9
その他	17,365	3.1	17,311	1.6
計	295,145	2.4	151,823	0.8

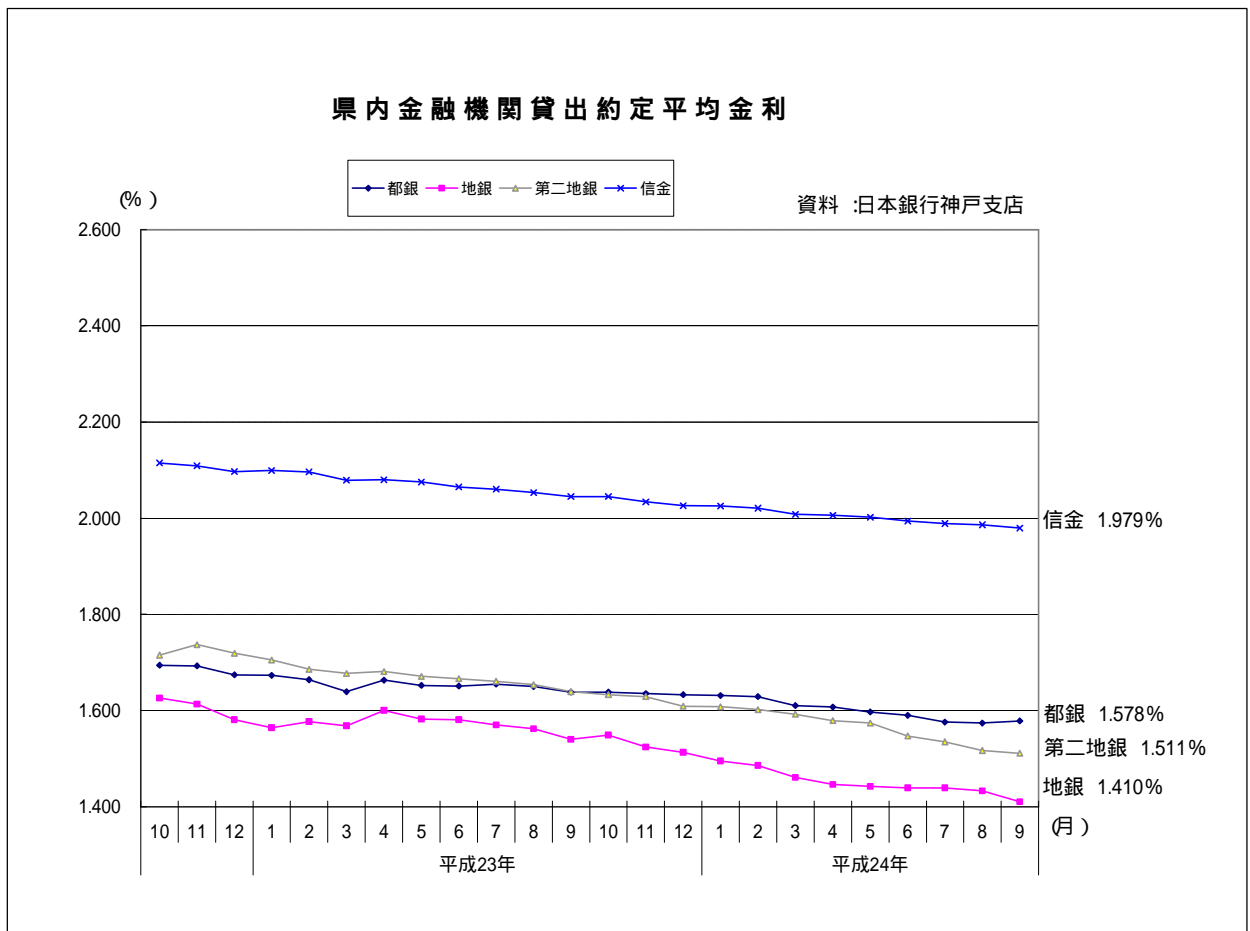
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

9月の預金は、前年を上回って推移している。

9月の貸出は、前年並みの水準で推移している。

9月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(9月末水準 1.683%、前月比 0.005%ポイント)。



【倒 産】

県内 10 月の企業倒産(負債総額 1 千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は 52 件で前年同月比 7.1%の減少、負債総額は 41 億 16 百万円で同 25.0%の減少となった。

倒産件数は、前月比 9 件の増加となったが、10 月単月では過去 10 年間(平成 15 年以降)で、平成 15 年の 52 件と並んで最も少ない件数となった。負債総額は、10 億円以上の大型倒産がなく、1 億円未満の小口倒産が 38 件を占めるなど、小口主流であった。

なお、返済猶予に関連する倒産が 1 件発生した。

原因別(件数)では、販売不振が 41 件(全体の 78.9%)と当月もトップ。2 番目は放漫経営と赤字累積がともに 3 件であった。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等の「不況型倒産」は 45 件と前月比 12 件の増加となり、構成比は 86.5%と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、不動産・サービス他業が 15 件(全体の 28.9%)と最も多く、2 番目は建設業が 14 件、次いで食品業が 8 件と続いている。

「資本金別」では、「個人企業」が 21 件でトップ、次いで「1 千万円以上」が 20 件、「1 百万円以上」が 8 件となった。

「産業別」では、「建設業」と「サービス・他業」がともに 14 件でトップ、次いで「卸売業」が 10 件となった。

日本銀行神戸支店が 11 月 5 日にまとめた「県内金融経済概況」によると、「景気はなお足踏み状態にあるが、一部の弱めの動きがみられている」と 11 か月ぶりに基調判断を引き下げた。

県下の企業倒産は、5 月以降件数の増減が大きかったが、当月は 1 月から 10 月までの平均である 52 件に落ち着いた。10 月までの累計件数では、「中小企業金融円滑化法」や各種の金融政策の効果が大きく寄与した昨年を下回っており、それらの効果が続いているといえる。ただ、国内景気は依然として力強さを欠いているほか、欧州経済の悪化や中国経済の減退等で外需(輸出)の減少傾向が懸念材料とみられる。そのような中、倒産抑制に大きな効果を現した金融円滑化法の終了を控え、中小・零細企業を中心とした企業倒産は、今後増加含みで推移するものと思われる。

10 月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額 1,000 万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	3	4	-1	3	0	金属・機械・電気	5	3	2	7	-2
過小資本	1	0	1	1	0	化学・薬品	1	0	1	1	0
連鎖倒産	2	4	-2	7	-5	ゴム・皮革・ケミカル	2	1	1	0	2
赤字累積	3	2	1	3	0	食品	8	2	6	5	3
販売不振	41	30	11	42	-1	建設	14	10	4	15	-1
売掛金回収難	1	1	0	0	1	不動産・サービス	15	14	1	17	-2
その他	1	2	-1	0	1	運輸・通信他	7	13	-6	11	-4
合計	52	43	9	56	-4	合計	52	43	9	56	-4

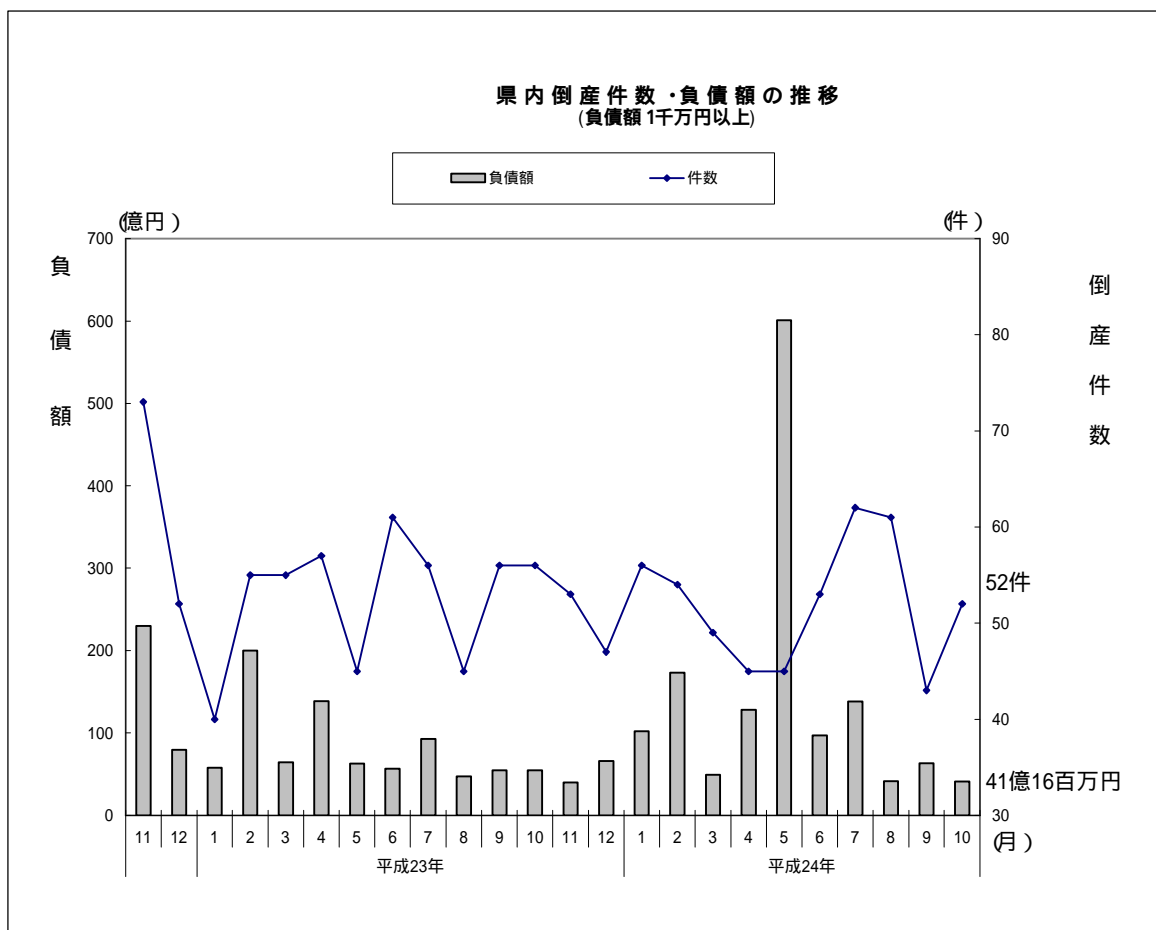
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位：件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 1月	56	14	19	6	9	3	0	5
24年 2月	54	17	23	5	2	4	1	2
24年 3月	49	15	23	0	9	1	1	0
24年 4月	45	14	14	7	6	1	2	1
24年 5月	45	16	18	5	5	0	0	1
24年 6月	53	18	25	4	3	1	1	1
24年 7月	62	16	28	4	11	0	1	2
24年 8月	61	22	22	6	5	1	1	4
24年 9月	43	15	14	4	9	0	0	1
24年 10月	52	22	11	8	3	2	0	6

資料：東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数			
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国	
	指数	前月比	指数	前月比	金額 (億円)	前年比	前年比	戸数 (戸)	前年比	前年比	
23年	1月	97.4	0.2	96.0	1.3	166	-23.2	-9.9	2,232	-2.6	2.7
	2月	101.3	4.1	97.9	1.8	186	-13.4	4.2	2,615	-22.8	10.1
	3月	95.8	-5.5	82.7	-15.5	346	-42.6	-3.5	2,685	-34.8	-2.4
	4月	98.8	2.1	84.0	1.6	287	-4.5	-11.2	2,607	-0.4	0.3
	5月	102.9	3.9	89.2	6.2	158	-24.3	-14.1	2,093	-16.6	6.4
	6月	101.8	-0.8	92.6	3.8	178	-25.4	-3.4	2,817	16.1	5.8
	7月	100.3	-2.4	93.0	0.4	205	-41.5	-15.9	3,046	-7.5	21.2
	8月	99.3	-1.8	93.6	0.6	181	-13.1	3.5	3,334	7.3	14.0
	9月	96.8	-3.7	90.5	-3.3	267	-15.0	3.3	2,475	-12.7	-10.8
	10月	98.7	1.5	92.5	2.2	229	-10.7	3.2	2,480	4.6	-5.8
	11月	97.5	-0.9	90.1	-2.6	186	-26.6	6.8	2,703	7.2	-0.3
	12月	98.7	0.2	93.4	3.8	182	-6.1	0.6	3,398	3.8	-7.3
24年	1月	102.9	3.0	95.2	1.9	145	-12.9	8.5	2,823	26.5	-1.1
	2月	99.0	-1.2	94.4	-1.6	130	-29.9	16.8	2,314	-11.5	7.5
	3月	97.9	-2.9	95.3	1.0	251	-27.6	8.0	2,923	8.9	5.0
	4月	96.3	1.5	95.4	-0.2	372	29.5	5.4	2,579	-1.1	10.3
	5月	95.0	-0.2	92.2	-3.4	193	22.3	36.7	2,581	23.3	9.3
	6月	94.0	-1.3	92.6	0.4	266	49.6	14.1	3,066	8.8	-0.2
	7月	95.7	1.5	91.7	-1.0	217	6.0	26.6	3,152	3.5	-9.6
	8月	r 91.6	-4.4	90.2	-1.6	178	-1.6	19.2	2,699	-19.0	-5.5
	9月	p 93.1	1.6	86.5	-4.1	251	-6.0	-1.9	2,534	2.4	15.5
	10月					269	17.4	28.2			
	11月										
	12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省	

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)				
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入		
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比	
23年	1月	10,161	-22.4	-19.0	199	-1.2	-1.1	3,650	4.7	2,191	8.6
	2月	13,994	-15.2	-13.8	153	-0.5	0.6	4,460	20.7	1,799	9.4
	3月	14,841	-35.5	-37.4	175	-5.4	-15.0	5,143	13.8	2,337	14.8
	4月	5,776	-50.6	-48.5	175	0.7	-1.8	4,686	2.7	2,425	11.3
	5月	7,635	-33.0	-33.3	167	-4.2	-2.6	4,234	1.3	2,348	14.8
	6月	11,464	-22.3	-21.9	170	-2.6	0.1	4,712	9.7	2,402	13.2
	7月	11,459	-29.0	-25.6	215	-1.7	-0.4	4,615	-3.3	2,275	10.4
	8月	10,264	-29.0	-26.0	156	-3.2	-2.1	4,244	4.2	2,417	14.2
	9月	15,901	-2.7	-2.1	150	-5.7	-2.8	4,576	3.3	2,183	9.3
	10月	12,206	26.2	27.5	175	-0.7	-0.8	4,476	-2.8	2,252	27.1
	11月	13,092	30.5	25.1	185	-4.5	-2.2	4,184	2.2	2,345	17.5
	12月	11,605	23.1	20.9	268	0.5	0.7	4,690	-2.8	2,150	4.7
24年	1月	14,266	40.4	38.4	196	-1.7	-1.2	3,277	-10.3	2,319	5.9
	2月	18,388	31.4	31.7	156	2.3	-0.5	4,375	-1.9	1,796	-0.2
	3月	24,941	68.1	76.3	179	2.3	14.2	4,879	-5.1	2,225	-4.9
	4月	11,728	103.0	99.5	165	-1.7	1.6	4,398	-6.1	2,151	-11.4
	5月	12,881	68.6	68.6	165	2.7	-0.9	3,935	-7.1	2,359	0.4
	6月	16,893	47.4	46.8	164	-0.2	-1.2	4,418	-6.3	2,088	-13.1
	7月	16,384	43.0	42.3	203	-1.4	-3.3	4,239	-8.1	2,227	-2.1
	8月	11,762	14.6	15.6	151	0.6	-0.8	r 4,032	-5.0	r 2,256	-6.6
	9月	15,226	-4.2	-3.7	147	2.1	-0.0	p 4,270	-6.6	p 2,039	-6.6
	10月	11,441	-6.3	-6.7	169	0.2					
	11月										
	12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関				

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与, 30人以上)		消費者物価指数 (22年 = 100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
23年 1月	(季調済) 0.57	(季調済) 0.61	1,001	0.2	98.9	0.1	99.5	-0.2	99.5	-0.6
2月	0.59	0.62	998	0.1	99.2	0.0	99.5	-0.2	99.5	-0.5
3月	0.59	0.63	996	0.3	101.1	1.2	99.7	-0.2	99.8	-0.5
4月	0.58	0.61	1,009	0.9	100.8	0.2	99.8	-0.6	99.9	-0.4
5月	0.57	0.61	1,012	0.9	99.7	0.0	99.8	-0.3	99.9	-0.4
6月	0.58	0.63	1,013	1.1	100.1	-0.5	99.8	-0.3	99.7	-0.4
7月	0.59	0.64	1,015	1.1	100.1	-0.4	99.7	0.1	99.7	0.2
8月	0.60	0.66	1,012	1.0	99.5	-0.8	100.0	0.0	99.9	0.2
9月	0.61	0.67	1,008	0.5	99.8	-1.1	100.2	0.0	99.9	0.0
10月	0.60	0.67	1,005	0.0	99.9	-0.9	100.4	-0.1	100.0	-0.2
11月	0.61	0.69	1,008	0.1	101.4	0.3	99.6	-0.6	99.4	-0.5
12月	0.62	0.71	1,007	0.3	99.9	-0.8	99.5	-0.4	99.4	-0.2
24年 1月	0.65	0.73	1,053	5.2	98.7	-0.2	99.7	0.2	99.6	0.1
2月	0.66	0.75	1,049	5.1	98.9	-0.3	100.1	0.6	99.8	0.3
3月	0.68	0.76	1,043	4.7	100.1	-1.0	100.4	0.7	100.3	0.5
4月	0.68	0.79	1,053	4.4	100.5	-0.3	100.3	0.5	100.4	0.4
5月	0.69	0.81	1,052	4.0	98.8	-0.9	100.2	0.3	100.1	0.2
6月	0.70	0.82	1,051	3.8	100.2	0.1	99.8	0.0	99.6	-0.2
7月	0.70	0.83	1,054	3.8	100.0	-0.1	99.6	0.0	99.3	-0.4
8月	0.69	0.83	1,051	3.9	99.6	0.1	99.9	-0.1	99.4	-0.4
9月	0.68	0.81	1,052	4.4	99.3	-0.5	r 99.7 p 99.5	-0.5	99.6	-0.3
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課			兵庫県統計課		総務省		

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年 = 100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産 (負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
23年 1月	103.9	1.5	151,540	-0.9	1.547	40	58	6	15	19
2月	104.1	1.7	151,452	-0.9	1.539	55	200	16	14	25
3月	104.7	2.0	154,140	0.2	1.519	55	65	16	20	19
4月	105.6	2.5	151,177	-0.4	1.521	57	139	21	17	19
5月	105.5	1.6	150,788	-0.9	1.512	45	63	14	17	14
6月	105.5	1.9	150,230	-0.5	1.508	61	57	13	23	25
7月	102.2	2.2	150,694	-0.7	1.501	56	93	18	16	22
8月	102.1	2.2	149,665	-0.7	1.496	45	47	15	9	21
9月	101.9	2.0	150,667	-0.6	1.473	56	55	17	22	17
10月	101.1	1.3	149,677	-1.1	1.474	56	55	19	17	20
11月	101.0	1.3	150,005	-0.4	1.469	53	40	19	17	17
12月	101.0	0.8	151,631	-0.6	1.452	47	66	8	19	20
24年 1月	100.9	0.3	150,149	-0.9	1.452	56	102	14	19	23
2月	101.1	0.4	149,482	-1.3	1.442	54	173	17	23	14
3月	101.6	0.3	152,152	-1.3	1.428	49	49	15	23	11
4月	101.7	-0.4	150,310	-0.6	1.424	45	128	14	14	17
5月	101.2	-0.7	150,352	-0.3	1.421	45	601	16	18	11
6月	100.5	-1.4	150,636	0.3	1.409	53	97	18	25	10
7月	100.0	-2.2	150,531	-0.1	1.403	62	138	16	28	18
8月	100.2	-1.9	150,189	0.3	1.401	61	41	22	22	17
9月	r 100.4	-1.5	151,823	0.8	1.385	43	63	15	14	14
10月	p 100.1	-1.0				52	41	22	11	19
11月										
12月										
資料	日本銀行				(株)東京商工リサーチ 神戸支店					

* p は速報値 r は確報値